

「アークヒルズ 仙石山森タワー」竣工 真の国際都心形成へ アークヒルズエリア本格始動

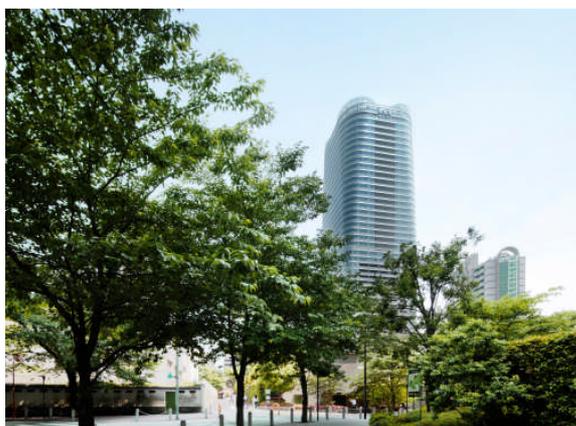
森ビル株式会社が参加組合員として参画している虎ノ門・六本木地区市街地再開発組合(理事長 浜田 尚子)が、港区六本木1丁目・虎ノ門5丁目にて建設を進めておりました「虎ノ門・六本木地区第一種市街地再開発事業」(施設名称:アークヒルズ 仙石山森タワー)が竣工し、本日8月7日に竣工式を執り行いました。

最先端の安全・環境技術を結集。住む人、働く人、訪れる人に潤いある都市空間を提供

「アークヒルズ 仙石山森タワー」は、約2.0haの施工区域に、地上47階の高層棟(3～24階:住宅、25～47階:事務所)を中心に、敷地南側に地上8階の住宅棟を配置。施工区域には、生物多様性に配慮した緑あふれる空間が広がり、約30%の緑被率を実現しております。

最先端の安全技術を結集した建物の高い耐震性能はもとより、都市ガスによる非常用発電システムの導入、低炭素社会の実現に向けて環境に配慮した積極的な取り組みを実施。豊かな働き方を実現するオフィスと、高品質なレジデンスを提供し、住む人、働く人、訪れる人に潤いある都市空間を実現いたします。

※「アークヒルズ 仙石山森タワー」の詳細は別紙をご覧ください。



アークヒルズエリアの新たな象徴、今後のエリア発展を牽引する存在として誕生

当事業の名称に冠した「アークヒルズ」(1986年竣工)は、オフィス、住宅、ホテル、コンサートホールなどからなる、民間による日本初の大規模再開発事業であり、「職住近接」「都市と自然の共生」「文化発信」を具現化した「ヒルズ」の原点です。開業当初から、オフィスへの外資系企業の集積や、先駆けとなった外国人向け賃貸住宅の提供等により、東京を代表する国際金融センターとなりました。「アークヒルズ 仙石山森タワー」は、アークヒルズが育てていた歴史・資産を継承しつつ、当エリアのさらなる発展を牽引する存在として誕生いたします。

真の国際都心形成へ アークヒルズエリア本格始動

今後、当エリアおよび周辺において、当社が関わる「21・25 森ビル建替計画((仮)アークヒルズサウスタワー)」(2013年竣工予定)、「環状二号線Ⅲ街区計画」(2014年竣工予定)等が控え、さらに他事業者による様々な開発プロジェクトが進行中です。

東京、ひいては日本の未来に向けて、森ビルは、この度の「アークヒルズ 仙石山森タワー」の竣工を、アークヒルズエリアの再出発(本格始動)と捉え、アジアのヘッドクォーターを目指す東京の真の国際都心形成を目指し、「アークヒルズ」が日本を代表する国際都心の代名詞となるように、「デベロップメント」と「エリアマネジメント」の両輪でエリアの発展を推進してまいります。

【本リリースに関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 秋田、深野

TEL : 03-6406-6606

FAX : 03-6406-9306

E-mail : koho@mori.co.jp